

せいけん
詩集

第百十六篇

作：近藤せいけん

「チャンス 紙一重 その二」

「昨日は失礼いたしました。」

あなたの申し出を社内ですら、

社長に報告しましたら、

ぜひチャレンジしなさいとのことですよ。

詳しくお話を聞かせて下さい」

「それは、それは、

ありがとうございます。」

ぜひご採用されますように

お願いいたします」

チャンスは 紙一重

微妙なさじ加減

「悪い事だけじゃない

すぐ後ろには

チャンスの芽が 隠れている」

熱意 努力 アタック

天の風が吹き 背中を押して

くれますよ

「人生で 面白いですよ」